

株式会社足利セラミックラボラトリー

Vol.

53

2023 新春号

ACL-TIMES



REPORT

第25回 群馬県歯科医学会学術大会 & 群馬デンタルショー

品質管理部 課長 遠藤 隆雄

2023年1月22日(日)群馬県歯科医師会館にて、第25回 群馬県歯科医学会学術大会、及び群馬デンタルショーが開催されました。前回の第24回は2020年に開催され、感染症の流行により休止を余儀なくされておりましたが、今回3年ぶりの開催となりました。

デンタルショーには、弊社も企業展示ブースとして参加させていただき、様々な歯科技工物をご案内、さらには弊社取扱の口腔内スキャナーの案内も致しました。

学術大会では、弊社品質管理部の遠藤が「透過性ジルコニアの特性を活かした修復物」と題し発表を行いました。

今回の発表内容はジルコニアの透過性について深掘りしたものとなっており、実際に3Y、5Y、6Yのジルコニアをそれぞれ0.4mm、0.6mm、0.8mmの3種類の厚みで削り出し焼成したものをを用いて、透光性を検証した発表となります。検証結果としましては、6Yのジルコニアが最も

高い透光性となり、厚みを変えた場合でも同様の結果となりました。

本検証ではニケイ酸リチウム系材料(e.max)との比較は行いませんでしたが、口腔内セット後の写真では同程度の透光性と確認でき、強度の面においても大気中での曲げ強度は5Yと同程度といった文献を目にしています。

これらのことから考察しても、今までのセラミックインレーはニケイ酸リチウムを第一選択肢としていましたが、厚みの取れない症例は6Yジルコニアが第一選択肢となると、その様に意見を発表させていただきました。

ジルコニアはどこまで進化していくのか、ジルコニアに置き換わる材料が開発されるのか、歯科材料の今後の発展に期待すると共に、それらの情報を今後の群馬デンタルショーでも引き続き発信していきたいと思っております。



学術大会での感謝状



上：企業展示会場。 中：講演の様子。 下：発表時のスライドの一部。ジルコニアの厚みにより透光性が違うことを表した。

モンゴル研修会

総務部総務課

1月10、11日、モンゴルでご活躍されている歯科医師や歯科技工士の方々が弊社までお越しになり弊社主催の研修会にご参加されました。弊社はモンゴルのウランバートルに支社を置き、モンゴルの方々向けに歯科技術をご提供しておりますが、今回の研修会を実現させたのは、弊社会長がモンゴル訪問の際にモンゴルの歯科医師マイツェツェグ先生(Ms.MAITSETSEG)とお会いしたことがきっかけとなりました。歯科業界において日本の技術はトップクラスに入るとして、世界基準の最新技術をモンゴルにもたらしモンゴルの歯科事情を発展させたいと大変な熱意のある方々が、日本での研修を切望され、今回の訪日、そして弊社での研修会が実現しました。

ウランバートルは大会

モンゴルと日本とはかねてより相撲による交流が盛んであり、長らく友好的な関係が築かれています。モンゴルの国土面積は約156万4,000平方キロメートルと日本の約4倍、その中で人口はおおよそ330万人となり、その半数が首都ウランバートルに集中しているそうです。群馬県の人口がおおよそ200万人弱と考えると、その人口密度の低さが浮き彫りになってきます。日本におけるモンゴル国のイメージは「遊牧民」の言葉で表されることが多く、事実、ウランバートルの周辺は国土の8割を占めるという牧草地が延々と広がっており、正に日本の我々が憧憬する景観が広がっています。その反面、首都ウランバートルはビル群が立ち並び大会に成長しているため、弊社の位置する群馬県を見ると、相当のどかと感じるとか。



後列：左から Ms.Enkhgerel (Dr) / Ms.Byambasuren (Dr) / Ms.Enkhmaa (DT) / 宗村 裕之 (代表取締役会長) / 宗村 政明 (代表取締役社長) / Ms.Maitsetseg (Dr) / Ms.Azzaya (Dr) / Mr.Purevsuren (DT) / Mr.Sugarjav (Manager) / 伊藤 匡弘 (本社技工部 架工二課課長) 前列：左から Mr.Mungunshagai (モンゴル支社 DT 通訳担当) / Mr.Ochirpurev(DT) / Mr.Gurdagva(DT) / Mr.Naranbayar(Dr・DT)

友好的で勤勉、そして真っ直ぐ

今回ご来社いただきました皆様は非常に紳士的で友好的、そして大変に勤勉な印象でした。歯科技術に対して真っ直ぐな気持ちと目標を持ち、多大な好奇心を持って訪日された模様です。言葉は違えど、容姿は我々日本人とほとんど変わりませんので、大変親しみやすくも感じました。なかでも代表のマイツェツェグ先生は、物腰も非常に丁寧で気品に溢れ、あえてモンゴルの要素が入ったカシミア素材の高級そうな衣装を召されてご来社され、私達を少しでも楽しませようと、そんな心の余裕さえも持ち合わせておられました。先生からは思いがけずたくさんの贈り物を頂きました。どれもこれも日本では手に入らない貴重な物ばかりです。



お土産の馬の絵

多色陶材築盛がテーマ

10日、11日と2日に分けての弊社ご訪問でしたが、初日は弊社見学、二日目は弊社研修室にて、弊社技工士の伊藤課長、山下課長、増山課長の3名のもと、多色陶材築盛をテーマとした実技講習を受講いただきました。前歯のモノリシックジルコニアにステインを施し自然感を出す技術、同じ前歯部に様々な陶材を用いた多色築盛技術など、デモンストレーションと講義を交え、実技まで行っていただきました。



実技研修会の様子。和気あいあいとした雰囲気だった。

モンゴルの歯科事情

モンゴルの歯科事情として、患者が歯科技工物に求める内容がそもそも日本と違っているそうです。モンゴルでは、せっかく高価な歯科技工物を作るのだから、せめて目立つように白くしてアピールしたい、という要望が多いそうです。隣接歯にシェードを合わせる必要もなく、ただ白い技工物を作ることがほとんどであり、相対的に歯科技工技術は停滞してしまうのが実情とのことです。ただ、世界の歯科事情がそうであったように、今後、モンゴルでも自然歯に近い技工物を求める人が増えてくることは明白であるため、今のうちにニーズに応え得る技術を修得することは、モンゴルにとっても必ずプラスになる、と弊社技工士と意見を交わしておられました。また、弊社の見学時皆様も皆様の好奇心は細部に向けられ、それは技工物の製作現場のみならず、どの様にして膨大な技工物を管理するのか、どの様にして集塵しているのかなど、施設の機能にも関心に向けておられたのが大変印象的でした。IOSやCAD/CAM等のデジタル歯科に関する知識は、世界の流れをほぼ網羅されている模様で日本のそれとほとんど相違なく、ただ、実際の導入については他国との経済面での差異から慎重に成らざるをえないのが実情とのことです。そのため、弊社で導入しているIOSシステムについては意見を交わし合う場面が見られました。

通訳お疲れ様です

通訳はモンゴル出身で日本語堪能、モンゴル支社在籍のムングンシャガイ氏により行われました。ムングンシャガイ氏は弊社にて長い勤務経験があり、モンゴルの歯科技術を底上げしたい、と強い志を持って日々努力されています。今回の研修会も彼の交渉力と努力により実現したものです。彼いわく、弊社への研修を希望されている方はまだまだモンゴルに多数いらっしゃるということです。弊社ではこれを期に、第二回、第三回と研修会を開催し、モンゴルの方々と技術面でも文化面でも交流を深めて行ければと願っております。

足セラだから
足利のイイ!
ところ紹介。

足利市民 遠藤隆雄

光と花の庭

あけましておめでとうございます!と言っても2月ですが!コロナの影響もあり、ここ数年、ACLタイムズに載せるネタが減っております故、ネタがたまるまで発刊が遅れに遅れております(笑)。今回ご紹介したい足利のいいところは、日本3大イルミネーションに選ばれ、夜景観光士が選ぶ「イルミネーションアワード」のイルミネーション部門で7年連続1位を受賞している、あしかがフラワーパークです!うわ、誰もが知ってる超メジャーきた!最終回かよ!って思ったでしょ?いやーこのネタを出してしまう時がやってきてしまいました。こんなメジャーなスポット出さってことは?ネタが…まあ、そんなワケで「あしかがフラワーパーク」を今さらですが、ご紹介したいと思います!

あしかがフラワーパークは、1968年に足利市堀込町に開園した「早川農園」を前身とし、1997年に現在の足利市の東端、迫間町に移設オープンしてから年々その規模を大きくし、現在ではその壮大なイルミネーションや、廣大壮麗と名高いフジを一目見ようと全国から観光客がたくさん集まってくる、足利を代表する一大観光スポットに成長しております。特に樹齡160年を超えるフ

ジはつとに有名で、ノダナガフジ3本、ヤエコクリウフジ1本、白フジのトンネルを有し、それらは栃木県天然記念物の指定を受けているそうです。2本のノダナガフジが棚で連結され、その棚の面積は2000平方メートル、約1200畳!に広がる規模だそうです。当園は四季折々に色めく草花を楽しませるため、「早春」「春の花祭り」「ふじのはな物語」「レインボーガーデン」「ブルー&ホワイトガーデン」「水辺に浮かぶ花の妖精たち」「パープルガーデン」「光の花の庭」と、花の季節を8つに分け、園の表情を変えることで、年間を通して来園者を楽しませる工夫をしています。

今の時期は「光の花の庭」!当園を全国的に有名にした、あのイルミネーションが楽しめる季節にあたります。2月14日(火)まで開催していますのでぜひ!100,000㎡の園内に、500万球のイルミネーション!そこで、私も改めて行ってきました!ここまで全国的に有名になると、観光バスがひっきりなしに訪れ、近隣は大渋滞となりますので、いち足利市民として迷惑を掛けたくない、電車で行ってきました。「光の花の庭」、別名「真冬の夜のふきさらし」ですので、寒いのは当たり前!装備品として、マフラーに毛糸の帽子、ブーツに手袋、ダウンを着込んで、更にヘルメットにゴーグル、板にビッケルまで持っていきました!防寒はしっかりお願いします!!

JR両毛線の足利駅からすぐ隣の駅、2018年に開業した「あしかがフラワーパーク駅」で下車すれば目の前がフラワー!!よく見ると、駅階段に藤棚のラッピングが!!そこから極上のイルミネーションを楽しんだことは言わずもがなで、忘れてはイケないのが、グルメですね。園内には200名収容のレストランがあり、ディナープレートから軽食や暖かい飲み物と満足の行くメニュー構



藤棚のラッピングで来園者をお迎え。



500万球の一部。これだけでも圧巻。

成となっておりますのでぜひ。その中でお勧めはチュロス!!揚げたてであったかい!寒くても大丈夫な方は藤の色の「藤ソフト」もおすすめ!藤の香り漂い見た目にも高貴なソフトクリームは、きっとインスタ映え間違いなし!

ざざっとあしかがフラワーパークのご紹介をしましたが、その魅力はここでは書ききれません。ぜひ、実際にご覧になってみてください。イルミネーションの次は4月中旬から5月中旬に開催予定の「ふじのはな物語」もぜひ!

【お知らせ】今回このようなメジャーなスポットを紹介してしまい最終回のおいを漂わせましたが、次回も期待に応えられるように、頑張りますm(_ _)m

この度、
新しく皆さまの
担当となります。

12月から郡山営業所に配属されました上岡です。営業として歯科医院様と歯科技工士との良い架け橋になれるよう努力していきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

郡山支社 営業部
上岡 敬典

東北歯科専門学校 卒業
趣味…
双子の子育て /
釣り(最近は行けてません涙)



サイレンサーSSL

新型スリプスプリント

いびき効く。

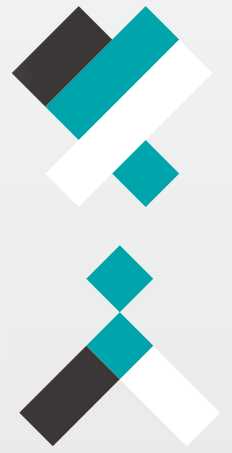
機能性
アンカーがコネクタ内を自由にスライドするため、開閉時の水平運動が可能。

シンプルな操作性
上下顎の位置関係の記録から装置の製作パーツまで取り揃えたオールインワンシステム

快適性と耐久性
コネクタに加わる過度な負担を回避し、装置の耐久性を向上。

単純な様で奥深い
この使命のため、
私たちは技術を磨き
人を育みます。

歯を創る。
人を支える。



ACL Hawaii, INC.
Cosmetic Dental Lab.



株式会社 足利セラミックラボラトリー

本社 群馬県太田市東新町 714
Tel : 0276-20-5670 Fax : 0276-20-5671

東京支社 ㈱エムエスシー 東京都墨田区両国 3-4-6 稲葉ビル 3F
Tel : 03-6284-0803 Fax : 03-6284-0804

茨城支社 ㈱デンタルアート 茨城県水戸市平須町 2-72
Tel : 029-305-5858

ハワイ支社 ACL Hawaii, INC. 1600 Kapiolani Blvd., Suite 1227, Honolulu,
Hawaii 96814 U.S.A.
Tel : (808)947-2128

モンゴル支社 ACL Mongol LLC. 01 toot, 42a building, Khoroo-8,
Sukhbaatar district, Ulaanbaatar, Mongolia
Tel : (976)99032288

仙台営業所 Tel : 0120-1372-18

山形営業所 山形県上山市朝日台 2-3-31
Tel : 080-2202-5455

大宮営業所 埼玉県さいたま市大宮区上小町 1416 エスプランサ103
Tel : 048-856-9534

郡山営業所 福島県郡山市咲田 1-7-8 コートセレーノ2 105
Tel : 070-4802-7774

歯科材販売事業 ㈱デンタルマート 栃木県足利市中川町 3771-2
Tel : 0284-72-5028

教育事業 デンタルアカデミー東京 東京都墨田区両国 3-4-6 稲葉ビル 3F
Tel : 03-6284-0803 Fax : 03-6284-0804

